

# たじみ議会だより

市民の声を形に 



## 今回の表紙

たじみ議会だよりのタイトルロゴを、多治見市観光大使である 文字職人 杉浦誠司さんにデザインしていただきました。令和2年12月21日、杉浦誠司さんから嶋内九一議長へタイトルロゴが寄贈されました。（詳細を16ページに掲載しています。）

## INDEX

- \*令和2年の議会活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～3P
- \*12月定例会のおもな案件・・・・・・・・・・・・・・・・4P
- \*12月定例会の議決結果・3月定例会の予定・・・・・・・・5P
- \*常任委員会審査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～7P
- \*市政一般質問に15人が登壇・・・・・・・・・・・・・・8～15P
- \*たじみ議会だよりのタイトルロゴを寄贈いただきました・・・16P

No. **201** 令和3年2月1日

# 活動を報告します

## 委員会等の活動（委員会・研究会・協議会開催状況）

委員会名		委員会		協議会	
		開催日数	会議時間	開催日数	会議時間
常任	総務	6	11時間20分	4	19分
	経済建設	6	9時間17分	1	27分
	厚生環境教育	5	11時間02分	-	-
特別	本庁舎建設に関する 決算	10	17時間47分	-	-
	第1分科会	1	3時間58分	-	-
	第2分科会	1	3時間42分	-	-
	第3分科会	1	3時間56分	-	-
	研究会	広報広聴研究会	11	5時間21分	-
議会運営委員会		42	21時間35分	-	-
全員協議会		-	-	13	16時間44分
計		85	89時間26分	18	17時間30分

※会議時間は、休憩時間を含んでいません。

※令和2年の決算特別委員会は、分科会方式で開催しました。

### 決算特別委員会 各分科会での審査のようす



第1分科会  
(総務常任委員会所管)



第2分科会  
(経済建設常任委員会所管)



第3分科会  
(厚生環境教育常任委員会所管)

## 市民と議会との対話集会

テーマ：市役所本庁舎建て替えについて

担当：本庁舎建設に関する特別委員会

開催日	開催場所	参加者数
令和2年 8月 5日(水)	昭和小学校体育館	13人
8月 5日(水)	南姫公民館	33人
8月 6日(木)	南ヶ丘中学校体育館	20人
8月 6日(木)	笠原中央公民館	12人
8月 8日(土)	多治見中学校体育館	23人
8月 8日(土)	小泉公民館	19人
8月10日(月)	パロー文化ホール	23人
8月10日(月)	旭ヶ丘公民館	10人
合計		153人

### 本庁舎建設に関する特別委員会 ～メンバー構成が変わりました～

令和2年12月7日に開催された本庁舎建設に関する特別委員会において、若林正人委員長ならびに渡部昇副委員長から辞任の申し出がありました。

委員の了承の上、互選により新委員長ならびに新副委員長が下記のとおり決まりました。

引き続き、新本庁舎の建設に関する議論を重ねていきます。

いしだ こうじ  
**石田 浩司 委員長**  
いのうえ  
**井上 あけみ 副委員長**

# 令和2年の議会

令和2年の市議会の活動状況についてお知らせします。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、議場等でのマスクやマウスガードの着用、手指の消毒、議場の扉の開放、議席・傍聴席の間隔を広げるなど、感染防止対策に努めてまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症による差別や偏見を許さず、すべての市民がお互いの人権を尊重し合い、安心・安全に暮らせるよう、「コロナ・ハラスメントを許さない」安心・安全声明を議会から発信しました。

令和3年も引き続き感染防止対策を講じながら、市民の皆さまから親しまれる開かれた議会を目指し、議会活動に取り組んでまいります。

## ■ 本会議開催状況

回次	開 会 期 間	会 期 (日)	会 議 時 間	審 議 件 数
第1回定例会	2月21日 ~ 3月23日	32	16時間42分	58
第2回臨時会	5月11日 ~ 5月13日	3	3時間10分	15
第3回定例会	5月29日 ~ 6月29日	32	9時間44分	18
第4回定例会	8月24日 ~ 9月29日	37	18時間24分	71
第5回定例会	11月19日 ~ 12月21日	33	13時間05分	25
計		137	61時間05分	187

## ■ 審議の内容（報告は除く）

議案内訳		計	説 明	
市長提出	承認議案	7	専決処分の承認	
	認定議案	13	令和元年度一般・特別・企業会計決算	
	条 例	制 定	3	多治見市避難行動要支援者名簿に関する条例ほか
		改 正	35	多治見市印鑑条例、多治見市手数料条例ほか
			<<1>> (1)	多治見市子どもの権利に関する条例 多治見市役所の位置を定める条例（審議未了により廃案）
		廃 止	2	多治見都市計画事業多治見駅北土地区画整理事業施行条例の廃止ほか
	予 算	当 初	12	令和2年度一般・特別・企業会計当初予算
		補 正	27	令和元年度・令和2年度一般・特別・企業会計補正予算
	市 道	8	市道路線の認定・廃止	
	契 約	14	工事請負契約の締結、物品供給契約の締結	
人 事	9	南姫財産区管理委員、固定資産評価員、監査委員、農業委員会委員、教育委員会教育長・委員、固定資産評価審査委員会委員、子どもの権利擁護委員、人権擁護委員		
そ の 他	38	権利の放棄、訴えの提起、指定管理者の指定、土岐川防災ダム一部事務組合規約の変更、多治見市と中津川市との間の証明書の交付等に係る事務委託の変更ほか		
議員提出	意 見 書	10	多治見市民病院を含む再編統合を必要とする公立・公的医療機関の公表撤回を求める意見書、中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書ほか	
	そ の 他	6	副議長辞任許可、決算特別委員会の設置、多治見市議会「コロナ・ハラスメントを許さない」安心・安全声明についてほか	
委員会提出議案		—		
請 願		1	新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金特例措置の期間延長に関する請願	
選 挙		2	副議長選挙、東濃西部広域行政事務組合議会議員の選挙	
計		187 <<1>> (1)		

<< >>の数字は、うち修正可決の件数  
( )の数字は、うち継続審査の件数

12月定例会の

おもな案件

多治見市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正

人事院勧告における一般職職員の期末手当支給割合の引き下げに準じ、市議会議員の期末手当支給割合を改めるもので

《期末手当支給割合》

改正前	6月	12月	合計
令和2年度	2.255月	2.225月	4.45月
令和3年度以降	2.20月	2.20月	4.40月

令和2年12月1日から施行（令和2年度分）

令和3年4月1日から施行（令和3年度以降分）

多治見市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正

人事院勧告における一般職職員の期末手当支給割合の引き下げに準じ、市長、副市長および教育長の期末手当支給割合を改めるものです。

《期末手当支給割合》

改正前	6月	12月	合計
令和2年度	2.255月	2.225月	4.45月
令和3年度以降	2.20月	2.20月	4.40月

令和2年12月1日から施行（令和2年度分）  
令和3年4月1日から施行（令和3年度以降分）

多治見市森林環境譲与税基金条例を制定

国から譲与を受ける森林環境譲与税を計画的に森林の整備に関する施策等に必要な経費に充てるため、基金を設置する条例を制定するものです。

令和3年1月1日から施行

多治見市霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正

多治見市北市場霊園に合葬式墓地を置くことに伴い、必要な改正を行うものです。改正内容のうち、合葬式墓地の使用者の資格および合葬式墓地の使用料は、次のとおりです。

- 合葬式墓地の使用者の資格
- (1) 本市に住所を有する者で、焼骨等を所持している者
- (2) 死亡時に市民であった者の焼骨等を所持している者
- (3) 多治見市霊園のえい地を返還するために当該えい地に埋蔵しているすべての焼骨を改葬しようとする者

合葬式墓地の使用料

種別	金額
個別埋蔵施設	12万円
個別埋蔵施設 (使用期間の延長20年につき)	7万円
共同埋蔵施設	5万円

令和3年4月1日から施行

多治見市駐車場条例の一部を改正

多治見市駐車場の利用促進を図るため、現在利用している共通利用券を廃止し、新たにプリペイドカードを導入するため、必要な改正を行うものです。

令和3年4月1日から施行

多治見市における建築物に附置する駐車施設に関する条例の一部を改正

多治見駅周辺の土地の高度利用を促す施策の一環として、駐車場の附置する義務の基準を国の標準基準と同じにするなどの改正を行うものです。

令和3年4月1日から施行

令和2年度一般会計補正予算（第6号）を可決

多治見市一般会計歳入歳出予算の総額に4億2千171万4千円を増額し、5億65万7千967万9千円とするものです。おもな事業内容は次のとおりです。

□新本庁舎建設事業費

13万2千円

新本庁舎検討市民委員会（委員12人）の設置に伴い、報償費等を追加するものです。

□新生児特別定額給付金事業費

3千3万7千円

令和2年11月2日から令和3年4月1日までに出産した新生児向けの特別定額給付金10万円の支給に伴う補助金等を増額するものです。

□児童館管理運営費

650万円

岐阜県新型コロナウイルス感染症緊急

包括支援補助金を活用した、13児童館への玩具滅菌庫などの購入に伴う備品購入費などを追加するものです。

□キ業展関係費

287万4千円

オンライン配信事業に伴う委託料および岐阜県産品購入促進補助金を活用した来場者向けノベルティの購入に伴う需要費を増額するものです。

□小学校教育活動支援事業費

610万円

□中学校教育活動支援事業費

490万円

新型コロナウイルス感染症予防対策による日帰り修学旅行などの行事支援に伴う使用料および手配済みのバス代などのキャンセル料の発生に伴う補償金を追加するものです。

意見書2件を可決

地方自治法第99条の規定により提出した意見書は、次のとおりです。

□犯罪被害者等支援の充実を求める意見書

あて先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 内閣官房長官 国家公安委員会委員長

□不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

あて先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 内閣府特命担当大臣（少子化対策）

## 12月定例会の議決結果

### ○全会一致の議案

#### 《条例制定》

- ・森林環境譲与税基金条例

#### 《条例改正》

- ・市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
- ・常勤の特別職職員の給与に関する条例
- ・職員の分限の方法及び効果に関する条例
- ・霊園の設置及び管理に関する条例
- ・高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例等
- ・駐車場条例
- ・多治見市における建築物に附置する駐車施設に関する条例

- ・火災予防条例

#### 《補正予算》

- ・土地取得事業特別会計（第1号）
- ・市営住宅敷金等特別会計（第2号）
- ・後期高齢者医療特別会計（第2号）
- ・水道事業会計（第1号）
- ・下水道事業会計（第1号）
- ・病院事業会計（第1号）

#### 《その他議案》

- ・物品供給契約の締結（2件）

#### 《意見書》

- ・犯罪被害者等支援の充実を求める意見書
- ・不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

### ○賛否が分かれた議案

項目	議案	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		山田徹	片山亀美	玉置真一	城處裕二	奥村孝宏	吉田企貴	佐藤信行	渡部昇	寺島芳枝	古庄修一	柴田雅也	松浦利実	若尾敏之	三輪寿子	若林正人	林美行	加藤元司	仙石三喜男	井上あけみ	石田浩司	嶋内九一
条例改正	職員の給与に関する条例等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	職員定数条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	一般会計（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険事業特別会計（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険事業特別会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

注) ○:賛成 ×:反対 —:採決に参加できない 欠:欠席 退:採決時に退席

## 3月定例会の予定

2月24日（水） 本会議（招集～提案説明）

3月 2日（火） 本会議（質疑～委員会付託）

5日（金） 総務常任委員会

8日（月） 経済建設常任委員会

10日（水） 厚生環境教育常任委員会

11日（木） 委員会（請願予備日）

12日（金） 本庁舎建設に関する特別委員会

16日（火） 本会議（市政一般質問）

17日（水） 本会議（市政一般質問）

18日（木） 本会議（市政一般質問：予備日）

23日（火） 本会議（委員長報告～表決）

\*会議の開始時間は、午前10時です。

\*提出議案等により、委員会の開催予定日が変更になることがありますので、ご注意ください。

\*一般質問当日の質問順位は、あらかじめホームページでお知らせします。なお、各議員は質問順位にしたがって一般質問を行うため、各議員の一般質問の開始時間は未定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本会議、委員会を傍聴される際は、手指の消毒とマスクの着用をお願いいたします。（傍聴席の入り口にアルコール消毒液を用意いたします。マスクはご持参ください。）

# 常任委員会審査概要

議会の情報をみなさんにお伝えするため、  
3つの常任委員会での審査概要をご紹介します。

## 総務常任委員会

委員長 林 美行

●議第133号 多治見市職員定数条例の一部を改正するについて

教育委員会事務局の職員定数が28人から30人に増えることについて質疑があり、令和3年8月からの(仮称)食育センターの稼働に合わせ、給食を総括する課を教育委員会事務局内に設置する案を検討している。それを反映してのことである」との答弁がありました。また、第5次多治見市定員適正化計画の年齢構成について質疑があり、「平成30年度より、28歳から40歳までの民間企業等経験者を対象とした採用試験を行っている。しかし、35歳前後の職員数が少なく、今後この年齢層の採用に努め、受験者数を確保できるよう募集方法を考える」との答弁がありました。

●議第141号 令和2年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)

キャッシュレス決済が導入された経緯について質疑があり、「近年、政府が押し進めたこともあり、急速に普及した。県内の多くの自治体が、キャッシュレス決済を導入した経緯もあり、本市においても今回提案するものである。Paypay、LINE Pay、など6種類ほどを予定しているが、今後増える可能性がある」との答弁がありました。

防火水槽の耐用年数と改修について質疑があり、「改修する防火水槽は60年使用している。地震等が発生する確率が上がってきたことから、道路上に設置された防火水槽の長寿命化を図る。防火水槽を40基ほどへ

## 経済建設常任委員会

委員長 柴田 雅也

●議第132号 多治見市森林環境譲与税基金条例を制定するについて

森林環境譲与税の用途について質疑があり、「財産区や公有林を除いた民有林かつ人工林で、所有者が管理をしていない森林は、市町村が所有者の委託を受け経営管理を行う、あるいは意欲のある林業経営者に再委託する形で森林の整備を行うことに使うよう岐阜県から助言を受けている。初めてのことであり、林地台帳の整備、所有者の確認、整備する場所の優先度について、これから検討する」との答弁がありました。

●議第139号 多治見市における建築物に附置する駐車施設に関する条例の一部を改正するについて

条例の基準と緩和について質疑があり、「条例の基準は、駐車台数を最低限確保するための縛りであり、敷地の中に必要な駐車台数は確保しなければいけない。基準を変えることにより、駐車台数が緩和されることになる。その結果、減少する駐車台数分は敷地が広く使えるため、有効に使っていただくという趣旨である」との答弁がありました。

●議第141号 令和2年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)

岐阜県産品購入促進補助金を活用した「き」業展会場向けノベルティ購入に伴う必要費の増額について質疑があり、「岐阜県産品購入促進補助金を活用して購入するノベルティである。美濃焼が指定を受けているため、現時点ではマグカップを予定しているほへ

## 厚生環境教育常任委員会

委員長 若尾 敏之

●議第136号 多治見市霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

合葬式墓地を使用できる者の条件と多治見市霊園の将来の運営について質疑があり、「現在、焼骨を保持している多治見市民であれば、誰でも使用できる。多治見市営霊園については、現在の墓数を増やす考えはなく、返還される墓地を整備し、新たな使用者を募集して運営する計画である。合葬式墓地への改葬は、多治見市営霊園からの改葬のみを対象とするが、合葬式墓地を含めた市内全体の墓のあり方等については、今後検討する。市民への周知については、令和3年3月の広報たじみで周知し、令和3年4月1日から募集を開始する」との答弁がありました。

●議第141号 令和2年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)

バロー文化ホール(多治見市文化会館)の大規模改修の根拠について質疑があり、「多治見市公共施設適正配置計画に基づき改修を行う。受変電設備や非常用発電機などは、開館以来、更新等を行っていないため、今後40年間利用することを踏まえて更新する。今回は、笠原中央公民館アザレアホールを解体し、その機能をバロー文化ホールに移行する工事も含まれており、今後40年間、安心安全に利用できる施設をつくってきたいと考えている」との答弁がありました。

また、小学校教育活動支援事業費の新型コロナウイルス感染症予防対策による日帰り修学旅行等の行事へ

## 常任委員会審査概要

### 付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第129号	多治見市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正するについて	原案可決
議第130号	多治見市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正するについて	
議第131号	多治見市職員の給与に関する条例等の一部を改正するについて	
議第133号	多治見市職員定数条例の一部を改正するについて	
議第141号	令和2年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)	

「抽出し、順次調査を行う」との答弁がありました。新生児特別定額給付金事業費の今後のスケジュールと周知について質疑があり、「広報たじみで周知を行う。令和3年1月1日以降、毎月の基準日時点で判断をし、入金したい」との答弁がありました。

職員福利厚生事業費のインフルエンザ予防接種費について質疑があり、「今回は、新型コロナウイルス感染症とのダブル感染も想定されるため、全正規職員に対して、接種するよう勧奨する。また、全会計年度任用職員に対して助成制度を設けるため、予算を要求した」との答弁がありました。

### 付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第132号	多治見市森林環境譲与税基金条例を制定するについて	原案可決
議第138号	多治見市駐車場条例の一部を改正するについて	
議第139号	多治見市における建築物に附置する駐車施設に関する条例の一部を改正するについて	
議第141号	令和2年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)	
議第143号	令和2年度多治見市営住宅敷金等特別会計補正予算(第2号)	

「か、「多治見のみみじ」も指定を受けているため、もみじサイダーも景品にすることを考えている」との答弁がありました。

また、「やくならマグカップも」活用推進協議会負担金の債務負担行為の追加について質疑があり、「ラッピングカーや声優を招いたイベントの開催など、コロナ禍において、どのように開催できるかも考えながら企画を考えており、令和2年8月に発足した「やくならマグカップも」活用推進協議会が母体で動いている。財源は、企業版ふるさと納税および個人のふるさと納税を考えている」との答弁がありました。

### 付託されたおもな議案

事件番号	付託された議案	審査結果
議第136号	多治見市霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて	原案可決
議第141号	令和2年度多治見市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)	
議第144号	令和2年度多治見市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	
議第145号	令和2年度多治見市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	
議第149号	令和2年度多治見市病院事業会計補正予算(第1号)	

「支援に伴う使用料の追加について質疑があり、「岐阜県の補助金は、岐阜城や岐阜県博物館など県の魅力化事業として指定された場所に行く条件を満たす9校に補助されるものである。また、密状態を避けるためのバスの増車も対象である。そのほかの4校のうち3校は、近隣の博物館明治村等に行く、あるいはバスの増車を必要としないため、あえて補助制度は活用しない。1校は修学旅行等を実施せず、楽しく心に残る行事を校内で企画、実施している」との答弁がありました。

# 市政一般質問

市政一般質問は、議案質疑のほかに市政全般にわたって市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

今回は15人の議員が登壇し、市の考えを尋ねました。

8ページから15ページまで、登壇順におもな内容を掲載しています。

●仙石三喜男 議員	多治見ってどんなまち！ 【多治見駅～陶彩の径～モザイク タイルミュージアム～潮見の森公 園の魅力アップ！】	8P	●玉置 真一 議員	『天災は必ず来るから備えましょ う』ハザードマップ編	12P
●吉田 企貴 議員	多治見市の産前産後サポートにつ いて～コロナ禍における対応を踏 まえて～	9P	●渡部 昇 議員	犬・猫の殺処分ゼロを目指して	12P
●佐藤 信行 議員	ごみステーションの現状と各種手 続きについて	9P	●片山 竜美 議員	デジタル化の推進と押印の見直し で、行政サービスの利便性と効率 性の向上を	13P
●古庄 修一 議員	本市最大の池 御大典池（みのり がいけ）から下流域住民を守る事 前災害対応について	10P	●井上あけみ 議員	子育ての拠点、児童館をフル活用 しよう！	13P
●林 美行 議員	宅地開発指導要領の見直しにつ いて	10P	●石田 浩司 議員	高齢者支援について（電動自転車 補助金と移動販売車）	14P
●山田 徹 議員	脱・水銀灯への取り組みについて	11P	●三輪 寿子 議員	子どもたちに夢のある公園整備 を！	14P
●奥村 孝宏 議員	多治見市民の安心安全は誰が守る！	11P	●若尾 敏之 議員	新型コロナウイルス感染症が本市 に及ぼす影響への対応について	15P
			●柴田 雅也 議員	セラミックバレーについて	15P

**問** 多治見市が一望でき、360度のパノラマが眺望できる潮見の森公園を、タイル装飾でより魅力的な公園とすることはできないか。また、公園アクセス道路脇および第2駐車場を桜並木で植栽する計画はあるか。

**答** 【副市長】陶彩の径をモザイクタイルミュージアムまで延長することは、その間に東濃鉄道株式会社からの車庫や一般住宅があるため、極めて困難である。既存の市道を活用し安全に通行できるように、カラー舗装や外側線の設置などのソフト分離施策の実施について、多治見警察署と連携して対応を協議する。

**問** 陶彩の径の延長については、2年前にも提案したが、その後の進展がない。新たに、既設道路を活用し、笠原川に沿ってモザイクタイルミュージアムへ向かう陶彩の径延長案を提案する。

**答** 【副市長】陶彩の径をモザイクタイルミュージアムまで延長することは、その間に東濃鉄道株式会社からの車庫や一般住宅があるため、極めて困難である。既存の市道を活用し安全に通行できるように、カラー舗装や外側線の設置などのソフト分離施策の実施について、多治見警察署と連携して対応を協議する。

**問** 公園管理棟北側に新築したトイレの壁面に、モザイクタイルアートを設置する。また、潮見公園の植栽計画については、50種の桜を植栽し、3月下旬から5月中旬にかけて花見ができる桜の名所としたい。

**答** 【市長】安心して利用でき、魅力ある潮見の森公園とするため、トイレの整備や子ども向け遊具の増設、スマートフォンの利用環境の改善を提案するが、検討はされているのか。

**問** 芝生広場および薬草園駐車場のトイレは令和5年から6年の2年間で水洗化、建て替えを計画している。また、来年度は老朽化した芝生広場の木製遊具を撤去し、新たに安全で楽しい遊具を設置する。また、携帯キャリア4社に対し、

**答** 【建設部長】芝生広場および薬草園駐車場のトイレは令和5年から6年の2年間で水洗化、建て替えを計画している。また、来年度は老朽化した芝生広場の木製遊具を撤去し、新たに安全で楽しい遊具を設置する。また、携帯キャリア4社に対し、

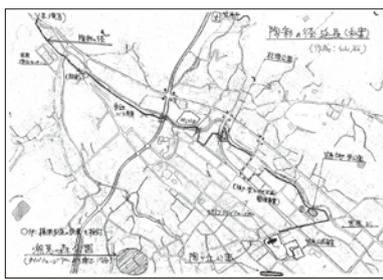
**問** 笠原町との合併により、潮見の森公園が多治見市に加わり、早15年になる。さらに、平成28年にはモザイクタイルミュージアムがオープンした。多治見駅からモザイクタイルミュージアム、潮見の森公園へ、陶彩の径を用いた魅力アップ施策を提案し、市の見解を問う。

**答** 【市長】公園管理棟北側に新築したトイレの壁面に、モザイクタイルアートを設置する。また、潮見公園の植栽計画については、50種の桜を植栽し、3月下旬から5月中旬にかけて花見ができる桜の名所としたい。



せんごくみきお  
仙石三喜男

多治見ってどんなまち！  
「多治見駅～陶彩の径～モザイク  
タイルミュージアム～潮見  
の森公園の魅力アップ！」



陶彩の径延長案（仙石三喜男私案）



よしだ もとたか  
吉田 企貴

多治見市の産前産後サポートについて、コロナ禍における対応を踏まえて



自身が事前にWebアンケートを実施したところ、9割以上の方が「多治見市の産前産後ケア制度」について「知らない」と答えている。多治見市の政策と市民ニーズとの間の隔たりを少しでも解消するため質問をする。

**問** 産前産後の各種サポートの利用実態は。

**答** 【市民健康部長】 妊娠期から子育て期の不安軽減や産後うつ予防のために、相談や教室事業を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、個別相談や家庭訪問を重点的に実施している。

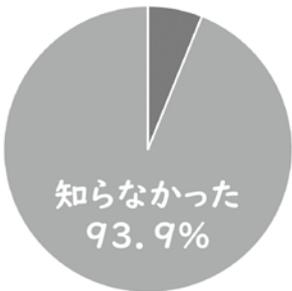
**答** 【福祉部長】 ファミリーサポートセンター事業、NP（ノーバディーズプロジェクト）プログラム、BP（ベビープログラム）、親子ふれあい教室などの事業を実施している。

**問** コロナ禍におけるオンライン対応の状況と利用者の反応はどのようか。

**答** 【市長】 8月からオンラインでの教室や相談を開始し、わかりやすかったとの声を聞いている。情報配信メール（きずなネット）の登録も開始している。

**答** 【福祉部長】 「親子ふれあい教室フオーアップ講座」をオンライン配信し、家で安心して講演を聴く

《多治見市の産前産後ケア制度について》



自身が実施したWebアンケート  
【多治見市における産前産後の実態調査】  
の結果より一部抜粋  
の結果より一部抜粋  
(吉田企貴作成)

**問**

Webアンケートの結果から、市の施策が十分周知されていない現状が確認された。広報による周知はどのように行っているのか。

**答**

【福祉部長】 広報たじみの特集、「こそだていろは帖」の作成・配布、フェイスブックの活用、子育てメールマガジン等の事業を実施している。さらなる周知のため、アプリを活用した周知方法の検討を進めている。

**問**

アプリの活用を検討しているとのことだが、どういったものか。

【福祉部長】 自治体向けの子育て支援アプリがあり、ほかの自治体での実績もあるため、本市も活用できないか検討している。



さとう のぶゆき  
佐藤 信行

ごみステーションの現状と各種手続きについて



市内のごみステーションの現状把握とともに、ごみステーション設置に関する各種手続きについて、市民サービスの向上を図るため、手続きに関する制度の見直しについて提案するとともに、以下の質問をする。

**問** ごみステーションの現状とごみステーションの運用について、どのように考えているのか。

**答** 【環境文化部長】 市内には2千510カ所のごみステーションと617カ所のリサイクルステーションがある。統廃合など効率的な運用を行っている。

**問** ごみ収集への安全性の観点から、ごみステーションの配置を見直す考えはないか。

**答** 【市長】 強制的に行うことはできないが、統合等により安全な場所に設置する方針である。

**問** ごみステーションの新設や移設は、住民同士で調整することとしているが、自治会への未加入者等の問題により、住民間でトラブルが生じ、調整することが困難である。市として対処することはできないか。

**答** 【市長】 相談には応じるが、ごみステーションの運営、管理は、利用

される住民が主体となって担っていたが必要があり、そこで生じる問題についても、町内会等によって調整されることが不可欠である。

**問** ごみステーションの設置箇所が市有地の場合、土地所管課との調整のため、庁舎以外の場所へ出向く必要がある。市民サービスの向上を図るため、各課連携によるワンストップサービスを提案する。

**答** 【環境文化部長】 環境課が土地の利用について調整を図ることは困難と考える。責任を持って管理していただくための手続きであり、土地所管課としっかり協議していただく必要があるため、ご理解願いたい。

**問** 入居前にごみステーションの場所がわかっていれば、ごみステーションの場所についてのトラブルはなくなると考える。不動産事業者などへ働きかけることはできないか。

**答** 【環境文化部長】 事前に利用するごみステーションを調整しておくことは望ましいと考えているため、可能な範囲で宅地建物取引業協会などの不動産業者などへ、チラシなどによる協力を求めたい。



ふるしよ 古庄 修一

本市最大の池、御大典池（みのりがいけ）から下流域住民を守る事前災害対応について



本市最大の池である御大典池（みのりがいけ）の周辺は、降雨量や冬場の降雪量が平地より多く、上流部から流れる水がこの池に注ぎ込まれる状況である。安心、安全で快適な生活を送ることができるよう、池の下流域の住民を災害から守るため、以下の質問をする。

**問**

御大典池の下流域には新興住宅などが建設されているが、池の存在を知らない人もいる。安心して暮らせる環境づくりのため、池の存在を周知する必要があると考えるがいかがか。

**答**

【建設部長】岐阜県が平成24年度に、ため池防災マップを作成し、下流域の住民に対する説明会を実施した際、防災マップを配布している。この防災マップは、市のホームページで閲覧が可能であるが、時間が経過しているため、あらためて広報などため池防災マップの周知を図りたい。

**問**

長野県は農業従事者と協議を行い、治水利用を実施している。さらなる安心と安全を求めるため、本市も取り入れてはどうか。

**答**

【建設部長】激甚化する気候変動の影響を踏まえ、流域全体で行う治



みのりがいけ 御大典池（古庄修一撮影）

**問**

水対策「流域治水」の転換を国、県、市で進めており、その対策の一つとして、農業用ため池の有効活用を検討している。

**答**

【市長】これまでの「二点」での議論から、下流、中流、上流といった流域、支川やため池といった「面」という地域全体を守る新しい考え方を整備する。ソフト面では、土岐川観察館、土岐川一斉清掃、りばーぴあの取り組みがあり、これらについては、国土交通省が注目している。

**問**

令和2年10月に行われた「庄内川流域治水協議会」で、市長が報告した本市の流出抑制対策や市民意識の向上などの取り組みの内容はどのようなか。



はやし 林 美行

宅地開発指導要領の見直しについて



開発工事について、市によるパトロールの実施だけでは、関係住民の安心できる生活の確保に配慮されていないと考える。行政としての責任を果たすため、工程表（日程計画）、施工時防災工事計画図面の提出を求めるべく、宅地開発指導要領の見直しを求め、以下の質問をする。

**問**

開発工事への市民の事前理解、周知、市への通報等に応えるためには、宅地造成等規制法の手続きにおいて、工程表（日程計画）、施工時防災工事計画図面を必要添付書類とするべきではないか。

**答**

【都市計画部長】定期的なパトロールにより、事業者に対し、現場に即した的確な指導が最も重要である。工事に関する市民からの通報等にも、すみやかに現場で事業者を確認しており、今後も継続していく。工程表や防災計画図の添付は義務付けてはいないが、パトロールや現場対応の過程で必要に応じて図面の提出を求めている。防災上の指導に万全を期している。

**問**

開発工事について、宅地造成等規制法と多治見市土地開発指導要綱とは、防災措置規定が異なる。

**答**

整合すべきと考えるがいかがか。

【都市計画部長】宅地造成規制法における工事施工中の防災計画については、現場により千差万別であるため、法律で一律に規定することができない。

工事中に災害等が発生した場合、災害復旧工事を行うとともに、遅滞なくその旨を本市に報告する条件を付して許可をしている。

また、開発工事の多くは小規模な宅地分譲であるため、過度な書類提出を求めるのではなく、現場パトロールにより必要な図面等を求める対応をしている。

**問**

1千平米を超える大規模な開発工事については、市独自で書類の提出を求めるという取り組みはできないか。

**答**

【都市計画部長】宅地造成規制区域内での1千平米を超える開発工事については、多治見市土地開発指導要綱により規制している。

その他の質問項目

- ◆ 駅北・音羽小名田線から多治見駅へ向かう交差点をスクランブル交差点にすべきである
- ◆ 感染症の時代を乗り越えて、これからの多治見市は



やま だ とおる  
山田 徹

脱・水銀灯への  
取り組みについて



国際条約である「水銀に関する水俣条約」の下、国内では令和2年12月31日に規制が開始され、一般照明用の高圧水銀ランプや蛍光灯は、令和3年以降、製造、輸出または輸入が禁止される。しかし、水銀灯や蛍光灯は、市内の施設で多く使われている。  
健康や環境の保護のため、本市もLED照明器具への交換をより進めるべきではないかと考え、以下の質問をする。

**問** 水銀灯が使えなくなる現状に、どのように対応していくのか。

**答** 【市長】道路照明灯は、来年1年間をかけて全てLED化を実施する。公園灯は、期間を設けてLED化を実施する。費用は1億7千万円かかるが、8年で元を取ることが出来る。

**答** 【教育長】小中学校の体育館の照明は、10校で水銀灯を使用し、今年度はそのうち4校のLED化を実施した。外灯は、17校で水銀灯を使用している。体育館、外灯ともに、令和7年度までにLED化を目指す。

**答** 【環境文化部長】感謝と挑戦のTYK体育館（多治見市総合体育館）および笠原体育館の第1競技場は、LED化を実施した。感謝と挑戦の

**問** LED化までの間必要となる玉替え用の水銀灯は、市で確保しているのか。

**答** 【建設部長】市で玉替え用の水銀灯は確保していない。業者が保有する在庫で対応が可能である。

**問** 市が維持管理する施設における水銀灯の割合は。

**答** 【建設部長】道路照明灯の脱水銀灯率は約12%、公園灯の脱水銀灯率は28%である。

**問** 器具を含めたLED照明の交換は、買い取りで行うのか。それともリースで行うのか。

**答** 【建設部長】リースによる交換は3千万円強の費用がかかる。経済性の面から、買い取りによる交換を実施する。

**問** 平成29年度まで行っていたLED交換補助を利用しなかった区や町内会の防犯灯への対応についてはどのようなか。

**答** 【市長】LED化未実施の防犯灯については、区長会としっかり協議を行う。



おく むら たか ひろ  
奥村 孝宏

多治見市民の安心安全は  
誰が守る！



高齢化社会において、市民が安心して暮らすには、行政の支援が必要と考える。また、防犯対策では情報を市民に知らせ、注意喚起を図る必要がある。「多治見市民の安心安全は誰が守る」と題して、認知症サポート制度、緊急メールの配信について、以下の質問をする。

**問** 認知症高齢者等みまもりシール交付事業について、岐阜県下の導入状況と本市の登録件数はどうなっているのか。また、なぜ有料としたのか。

**答** 【福祉部長】本市以外に、岐阜市、関市、美濃市、恵那市、本巣市、北方町が導入している。本市の登録件数は、現在16件である。シールを大切に利用していただきたいの思いから有料としている。

**問** 南姫公民館で開催された認知症サポーター養成講座に参加したが、これまでの開催状況と受講者数、今後の計画はどうなっているのか。

**答** 【福祉部長】平成20年2月から本年9月までに、延べ9千385人の認知症サポーターを養成した。引き続き、中学校や企業にも働きかけ、認知症サポーターを増やしていきたい。多治見警察署の方にも

受講していただく予定であり、認知症の方と接する可能性の高い方に広めていく。  
今後は、受講されたサポーターの方が、ボランティアとして活躍できる機会を創出していく。

**問** 令和2年11月6日未明に発生した強盗事件について、注意喚起の緊急メールが発信されたのは、午後4時頃であった。もっと迅速に対応する必要があるのではないかと。また、岐阜県防犯アプリを活用してはどうか。

**答** 【市長】午前6時50分から各小中学校、幼稚園および保育園に情報を提供し、保護者メールにより注意喚起を行った。しかし、防災行政無線の配信が、警察からの要請後5時間を要したことは極めて大きな問題である。深く反省し、改善をしていきたい。また、岐阜県防犯アプリも活用していきたい。

**問** 緊急メールでは、より詳しい情報を提供してはどうか。緊急メールの配信内容等については誰が判断しているのか。

**答** 【企画部長】配信の内容や判断は、各担当課が担う。取扱責任者は、企画部長である。



たまおき しんいち  
玉置 真一

「天災は必ず来るから備え  
ましよう」  
ハザードマップ編



ハザードマップは、災害の可能性を事前に想定し、市民に周知するための極めて重要なツールである。

東海豪雨を経験した愛知県清須市の「水害対策ブック」や埼玉県戸田市の「ハザードブック」の内容は、「自分の命は自分で守る」を基本にしたわかりやすい内容である。本市も参考にしていただきたい。現在作成中の本市のハザードマップについて、浸水想定区域を中心に、以下の質問をする。

**問**

従来のハザードマップ（しー）と現在作成中のハザードマップ（しー）との基準値の違いは。

**答**

【企画部長】しー1は百年に一度の規模の降雨量、しー2は千年に一度の規模の降雨量を想定したものである。

**問**

現在作成中のハザードマップにて、浸水想定区域に該当する地域の住民はどう捉えたいのか。

**答**

【市長】どれだけ浸水対策を施したとしても、災害をゼロにすることは極めて困難である。ハザードマップによって、自宅が浸水や土砂災害の危険性があることを知ること、早めの避難、命を守る行動につなげる必要があることを認識していただきたい。

**問**

防災訓練や市民との対話を通じての説明会などに取り組み予定はあるのか。

**答**

【企画部長】ハザードマップの公開後は、おとどけセミナー、各地域で行われる防災訓練等で活用し普及を図る。また、おとどけセミナーのメニューにハザードマップを用いた訓練を加えることも考えている。

ハザードマップを入手したら  
**必ず見てください!**

- 1 自宅の場所を確認する!
- 2 自分や家族を守る「安全な場所」を決める!
- 3 一緒に避難する方の自宅を確認する!
- 4 安全な避難経路を確認する!

私の避難情報マップを作りましょう!

ハザードマップを入手したら  
(玉置真一作成)



わたなべ のぼる  
渡部 昇

犬・猫の殺処分ゼロを  
目指して



平成30年度の犬・猫の殺処分数は、犬が7千687匹、猫が3万7577匹にのぼる。犬の殺処分数は1974年から減少傾向だが、猫の殺処分数は横ばい傾向であり、今後、犬・猫の殺処分ゼロを目指すには、猫の殺処分数をいかに減少させるかが重要な課題となっている。

そこで、多治見市における犬・猫の保護等の現状と、動物愛護団体の活動支援を求めて、以下の質問をする。

**問** 多治見市における犬・猫の殺処分数は。

**答** 【環境文化部長】令和元年度に多治見市内で保護された犬・猫の殺処分数は、犬が3匹、猫が87匹である。

**問** 動物愛護のボランティア活動が全国で行われている。なかでも、地域猫活動は、地域の猫を把握し、避妊や去勢手術を受けさせることで、繁殖を防ぐ活動であり、野良猫の減少に寄与する活動である。

**答** 【環境文化部長】地域猫活動については、4団体が活動している。

**問** 地域猫活動を行う団体は、地域の住環境を守るためにも立ち上げ

ているのか。

り、ボランティアで活動されている。

地域猫マップを作成するなど、きめ細かに地域の猫を管理することにより、猫の殺処分ゼロに向けた活動を行っている。

また、地域の了承を得ながら、地域猫に避妊や去勢手術を受けさせるため、美濃市にある岐阜県動物愛護センターへ車で向かうが、回数が増えれば、高速料金やガソリン代の負担が重くなる。市として、地域猫活動への支援はできないか。

**答** 【市長】犬・猫の殺処分は岐阜県の事業である。地域猫活動に対する本市単独での支援は考えていない。

**問** 岐阜県が動物愛護推進委員を委嘱しているが、動物愛護推進委員は、どのような任務に携わっているのか。

**答** 【環境文化部長】動物愛護推進委員の任務は、動物の愛護および動物の適正な飼育の推進である。具体的には、保健所で引き取った犬猫の譲渡の推進、しつけ方の相談、動物の適正飼育についての普及等である。

なお、東濃保健所管内の動物愛護推進委員は16人である。



かたやま たつみ  
片山 竜美

デジタル化の推進と押印の見直しで、行政サービスの利便性と効率性の向上を



デジタル化政策は、国が進めるべきものだが、国からの指示を待つのではなく、多治見市もいち早く、できることからデジタル化を進め、市民にとっては利便性、職員にとっては効率性の向上を図るべきである。

いまだ終息をみないこのコロナ禍において、デジタル化、オンライン化は喫緊の課題である。

多治見市のデジタル化の状況やこれからの取り組みについて、以下の質問をする。

**問**

マイナンバーカードは、現在、多治見市でどれだけの方が所持しているか。また今後、どの様に普及を進めるか。

**答**

【市長】令和2年12月1日現在での交付数は、1万8千947枚、普及率は、17.2%であり、東濃5市の中では最も高い。マイナンバー事業の開始から交付数は徐々に増加し、令和2年9月に人員を補強して対応している。

**問**

市は、政府が出している「マイナンバーポータル・びったりサービス」をどこまで利用しているか。また、今後、追加を検討している項目はあるか。

**答**

【企画部長】「妊娠・出産」「子育て」

**問**

「高齢者・介護」の3種26手続について、活用している。活用項目については、今後のマイナンバーカードの普及状況を見ながら、さらなる拡大を検討する。

LINEは、SNSの中で最も利用があり、老若男女、世代を超えて活用している。

**問**

多治見市の行政サービスは、このLINEをごく一部で使っているだけである。LINEを活用した、市政の情報発信や市民からの情報提供はできないか。

【企画部長】市政の情報提供は、広報紙、ホームページ以外に、さまざまなSNSを利用している。今後、市民のニーズに合わせて、LINEを含め、拡大することを検討する。

**問**

オンライン授業の現状を教えてください。また、GIGAスクール構想の運用開始に向けた準備状況を教えてください。

**答**

【副教育長】オンライン授業にも対応できるよう「オンラインミーティング」ができる体制を整えている。5月にGIGAプロジェクトチームを立ち上げ、タブレットを活用した実践交流を重ねてきた。



いのうえ  
井上あけみ

子育ての拠点、児童館をフル活用しよう！



現在の子どもたちは、共働き家庭の増加で、自身の居場所を見つげにくく、自然体験型の遊びに恵まれないことなどによって、自己肯定感の低さが指摘されている。

子育ての拠点、児童館のあり方を改めて考え、以下の質問をする。

**問**

下校途中で児童館が利用できる、いわゆる「ランドセル来館」を導入してはどうか。

**答**

【福祉部長】他市の事例では、学童保育がない地域で、児童館でのランドセル来館を実施しているところが多い。また、事前登録などの手続きが必要となっている。教育委員会とも連携し、たじっこクラブとの棲み分けも含め、保護者などからのニーズを調査研究していく。

**問**

児童館の相談事業を充実させ、利用者気軽に相談できるようにしてはどうか。

**答**

【福祉部長】すでに全児童館で、月に1回程度の相談日を設けている。また、ご存知でない方のために、引き続き周知に努めたい。相談内容によっては、担当課や学校へ連絡しており、子ども支援課では、子育て支援コーディネーターが、

**問**

相談や施設の職員への指導を行っている。

**答**

【福祉部長】児童館は、原則飲食禁止となっている。ただし、ランチによる交流は、保護者支援に有効と考えており、指定管理者との協議を進めたい。

**問**

公共施設適正配置計画により、機能統合が計画されているが、児童館は地域ごとの特徴があるため、複合化とする方針を見直すべきではないか。

**答**

【副市長】児童館と公民館の統合は、多世代が交流でき、利用者の利便性の向上と地域力向上に資する大きな役割を担う計画である。ただし、施設の統廃合については、個々の計画を無理やり進めるのではなく、これまでどおり、地元や利用者丁寧に丁寧な説明を行い、理解を得られるよう努めたい。

**答**

【企画部長】基本方針として、児童館は、各小学校区に必ず残しておく考えである。

その他の質問項目

◆新本庁舎建設、基本構想(案)策定について



いしだ こうじ  
石田 浩司

高齢者支援について  
(電動自転車補助金と  
移動販売車)



愛知県蒲郡市は、温室効果ガス削減に積極的に取り組むため、電動アシスト自転車を購入する方への補助制度を設けている。

通学や通勤、買い物など、日常の移動手段を電動アシスト自転車に転換することを目的としており、申請者の8割が高齢者であるとのことである。

高齢者の移動手段として、買い物や通院のための電動アシスト自転車の補助制度について、本市の考えを伺う。

また、移動販売車は、限界集落など、買い物をする店がなく、困っている地域の話であると考えていたが、本市においても、高齢者の買い物支援として必要になってきているのではないかと考える。

買い物をするために、高齢者をはじめとする地域住民が集まることで、会話や見守りなど、地域のコミュニティの活性化が図られている。

今後、ニーズが高くなると思われる移動販売車に対する本市の考えも伺う。

**問** 高齢者への支援策として、運転免許証を返納する高齢者等への購入の補助は考えているのか。

**答** 【市長】高齢者が電動アシスト自転車に乗ることは大変危険が伴うため、高齢者への購入の補助は計画

**問** 移動販売車を誘致し、市として支援する考えはあるのか。

**答** 【福祉部長】北栄地域における移動販売車の取り組みについては承知している。

地域がそれぞれの実情にあった取り組みを行うことについては、地域力の向上の観点から、大いに期待している。

今後、市として、どのような支援ができるのか、やり方を含め、調査および研究を行う。



移動販売のようす (石田浩司撮影)



みわ ひさこ  
三輪 寿子

子どもたちに夢のある  
公園整備を！



新型コロナウイルス感染症の第3波が急速に広がり、子どもたちの心身へのストレスが心配される。コロナ禍で抑制された子どもたちの心を解放し、のびのびと思い切り走り回ることができる公園、楽しめる公園整備を提案し、市の見解を問う。

**問** 愛知県尾張旭市の城山公園は、対象年齢でゾーニングされ、年齢にあった複合遊具が設置されている。

また、土岐市の陶史の森せせらぎ公園には、アスレチック場があり、家族連れで一日中楽しむことができる。ゆったりとした空間でのびのび安全に遊べるよう、大型複合遊具を設置した魅力ある公園整備ができないか。

**答** 【市長】市内の都市公園の数および面積は充足しており、新たな公園を開設する計画はない。

**問** 各地域の公園にある老朽化した遊具の撤去後、より魅力的な遊具を設置できないか。

**答** 【建設部長】現在、公園長寿命化計画に基づき遊具の更新を行っている。更新する際は、安全で楽しい遊具を選定し設置している。また、遊具を増設する際は市民の声を取り入れながら進めている。

**問** 安心して子育てできるよう、子育て支援策として、乳幼児から小学6年生まで楽しめる公園整備が必要ではないか。

**答** 【建設部長】1歳から3歳、3歳から6歳、6歳から12歳といった対象年齢に応じた遊具や、大人が利用する健康遊具を計画的に設置している。

**問** コロナ禍の中、優先順位をつけながらの財政運営になると予想されるが、子どもに予算を使うことはできないか。

**答** 【市長】本市行政は、子どもたちのために最優先に予算を配分することと、将来その効果が現れることを根拠に持っている。幼児教育の面を充実させており、公園整備については、



城山公園 (愛知県尾張旭市)  
(三輪寿子撮影)

◆その他の質問項目  
新型コロナウイルス感染症対策への支援について



わか お とし ゆき  
若尾 敏之

新型コロナウイルス感染症  
が本市に及ぼす影響への  
対応について



新型コロナウイルス感染症は、本市においても百名以上の感染者が確認されている。いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症が、本市にどのような影響を及ぼしているのか、また、その対応への取り組みについて、以下の質問をする。

**問** ごみ焼却施設への影響はなかったのか。また、家庭ごみ等の収集量に変化はあったのか。

**答** 【副市長】 新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな施設の建設が必要ということはない。

**問** 【環境文化部長】 ステイホームの影響で、家庭ごみの収集量はわずかに増加しているが、事業系ごみ量は減少している。ただし、家庭ごみの持込件数が、前年比で3割程増加しており、三の倉センター付近で渋滞が頻発し、通過交通への影響が生じた。

**答** 【市民健康部長】 ウォーキングアプリ「arukuu&」（あるくと）の団体機能を利用してウォーキングイベントを実施した。また、保健センターオリジナル「らくらく筋力アップ体操（床・椅子バージョン）」をYouTubeで配信するとともに、D

VDを作成し、希望者に無料配布している。

**問** 人と人との接触や三密を避けるため、市内文書の電子決裁の導入やリモート化、AIの導入について、どのように考えているのか。

**答** 【市長】 電子決裁は、平成18年度から導入している。

**問** 【企画部長】 庁内会議のリモート化は、年度内の試行を予定しており、外部団体とのオンライン会議はすでに実施している。また、インターネット上での質問への自動回答ができるよう「AIチャットボット」の導入を検討している。

**問** 【企画部長】 本格的なバーチャルリアリティについては研究段階であるが、救急救命講習に関する動画をYouTubeで配信したり、スマートフォンを利用した「アプリで歩くキャンペーン」など、家庭内や自身で取り組める事業を展開している。

**問** 【企画部長】 これまでフェイスブックやインスタグラムを活用し情報を発信してきた。今後はこれらに加えLINEを活用した情報発信を広げたいと研究を進めている。

**問** 【経済部長】 美濃焼の産業・文化にかかわる方をはじめ、商工会議所、東濃信用金庫等、民間主導の推進体制が進みつつあり、「FROM MINO」として美濃焼を通して日本のライフスタイル、歴史・文化を世界に情報発信していく。また、



しば た まさ や  
柴田 雅也

セラミックバレーについて



本市をはじめ東美濃地域は、悠久の歴史の中で、人々の生活と生業に密接にかかわりのあるやきもの文化を生み出し、今や世界に冠たる美濃焼の産地（セラミックバレー）となっている。

また、令和3年には第12回国際陶磁器フェスティバル美濃の開催とともに、美濃焼をテーマにした「やくならマグカップも」のアニメ放送も始まる。

世界中の誰からも「セラミックバレー」イコール「美濃焼」とわかっていただけるよう、以下の質問をする。

**問** セラミックバレーの目的、構想の現状・推進体制・戦略について教えてください。

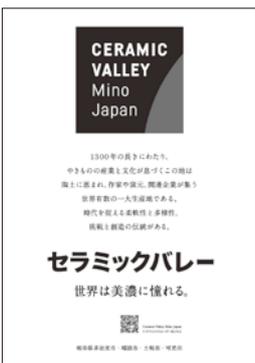
**答** 【市長】 ブランディングの再構築を目指している。民間主導、温故知新をキーワードに、若手のやる気のある経営者や日本ガイシ株式会社と協力し、3市（瑞浪市・土岐市・可児市）の市長とともに、セラミックバレー構想を世界中に広めていくこととしている。

**問** 【経済部長】 セラミックバレー展の開催を予定している。

**問** 市内、市外への周知方法はどのようなものか。

**答** 【経済部長】 YouTubeによるPR動画の配信とともに、この構想に賛同する4市の事業者の自動車と公用車にマグネットシートをつけ、周知を図っている。また、とうしん学びの丘エールにおいて、セラミックバレーセミナーを開催した。セラミックパークMINOにおいても中堅、若手の事業者の方とグラフィックデザイナーの佐藤卓氏によるセラミックバレーシンポジウムを開催することとしている。

**問** 【経済部長】 美濃焼の産業・文化にかかわる方をはじめ、商工会議所、東濃信用金庫等、民間主導の推進体制が進みつつあり、「FROM MINO」として美濃焼を通して日本のライフスタイル、歴史・文化を世界に情報発信していく。また、



セラミックバレーポスター

# たじみ議会だよりのタイトルロゴを 寄贈いただきました

## 市民の声を形に（しみんのこえをかたち）

「たじみ議会だより」の「議会」の部分に、「しみんのこえをかたち」とめっせ一字をいただきました。杉浦さんからの議会に対する思いが込められています。

いただいためっせ一字を真摯に受け止め、市民の皆さまからいただいた声をより良いまちづくりに反映させられるよう、議員一同取り組んでまいります。



(左奥から) 仙石三喜男議会運営委員会委員長、佐藤信行広報広聴研究会会長、  
寺島芳枝副議長、玉置真一広報広聴研究会副会長  
(左手前から) 嶋内九一議長、杉浦誠司さん

令和2年12月21日、タイトルロゴの寄贈式を執り行い、杉浦さんから嶋内議長へタイトルロゴが寄贈されました。

寄贈式では、杉浦さんから「わたしのめっせ一字が政治に関心を持っていただくきっかけとなればうれしい」とのお言葉をいただきました。

また、市議会の広報活動に多大なる貢献をしていただけたことに感謝の意を表し、杉浦さんへ嶋内議長より感謝状を贈呈しました。

## 多治見市観光大使

### 文字職人 すぎうら せいじ 杉浦 誠司さん

多治見市在住

漢字をひらがなのめっせ一字で表現する文字職人  
筆を通じて人々に夢と笑顔を与えている。

めっせ一字のほかに、小中学校や企業向け講演会の講師、巨大書き下ろしのパフォーマンス、書籍の出版など、日本全国で幅広く活躍されている。



## ～たじみ議会だよりのタイトルロゴの寄贈にあたって～

このたび、たじみ議会だよりを担当する広報広聴研究会の会長を務めさせていただくにあたり、皆さまに議会をもっと身近に感じてもらえるような取り組みをしたいと考えました。

特に全戸配布される議会だよりは、「誰にでも手に取ってもらえるような魅力あるものにしたい、これまであまり興味関心のなかった方々にも読んでもらいたい」という思いがありました。それと同時に、令和2年度は新型コロナウイルスの出現によって、生活が一変し、不安を抱えながら日々を送る事態となっております。

そこで、「コロナ禍において、めっせ一字でたじみに元気をお届けしたい」と、多治見市観光大使であり、夢と笑顔を与えてくださる文字職人の杉浦誠司さんに相談をさせていただいたところ、私の思いにご共感いただき、たじみ議会だよりのめっせ一字を寄贈して下さることになりました。

長い歴史のあるたじみ議会だよりが、杉浦さんのめっせ一字によって、より多くの方に手に取ってもらい、多くの方に夢と笑顔をお届けすることができることを願っております。



広報広聴研究会  
会長 佐藤信行

この議会だよりは1部当たり10.83円（税込み）で、40,300部作成しています。



たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。  
この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄するときは、燃やさないで、資源回収等に出しましょう。